

# 2010年度 喜安記念業績賞紹介

## 選奨にあたって 村上 篤道

喜安記念業績賞選定委員会委員長／三菱電機(株)

喜安記念業績賞は、情報技術に関する新しい発明、新しい機器や方式の開発・改良、あるいは事業化プロジェクトの推進において、顕著な業績をあげ、産業分野への貢献が明確になったその貢献者に贈呈されることになっています。今回は、喜安記念業績賞の選奨にあたって、相応しい候補の9件の応募がありました。選考基準として、各技術分野において最高の技術レベルであること、社会に活用され貢献していること、広範囲の分野からそれぞれに優れた開発成果を選奨することに配慮させていただきました。1次選考投票、2次の審議の結果、新しい機器やシステムの開発、あるいは市場での実用化推進において顕著な貢献をされた4件を選奨することができました。

富士通研究所の技術開発チームは、「大規模ネットワーク障害原因および障害箇所特定技術の開発」で選奨されました。IPネットワーク上に構築されたICTシステムのメルトダウン障害の代表的な原因であるL2ループ障害に対して、世界で初めて発生中のL2ループ障害の原因箇所をリモートに設置したPCから特定ループを遮断する技術を開発し商用化しました。これらの技術は企業ユーザ向けサポートツールとして活用されており、官公庁、医療機関、および企業ネットワークの安定稼働に貢献しています。

NECの技術開発チームは、「高精度顔認証技術の研究開発」が高い評価を得ました。独自の一般ベクトル量子化法(GLVQ)と呼ぶ機械学習手法に加え、多元特徴識別法(DMFM)と呼ぶ新たな機械学習手法を開発し、大量の顔画像を学習させることにより、本人と他人を高精度に識別する画像特徴を自動抽出する技術を確立しました。本技術は、同時多発テロ以降、世界的に国境管理が強化されたことを受け、

顔認証技術の高精度化を達成し、出入国管理や施設の入場管理など国内外の幅広い分野で活用されています。

三菱電機の技術開発チームは、「放送・監視業務用高品質H.264映像符号化ワンチップLSIの開発・実用化」で選奨されました。放送・監視業務やIP映像伝送などにおける伝送帯域の有効活用を目的に、クロマ4:2:2フォーマットHDTV対応ワンチップH.264エンコーダLSIを世界で初めて開発しています。開発したLSIは、SNG(Satellite News Gathering)車載局やFPU(Field Pickup Unit)など高品質で小型化が要求される用途に最適な仕様となっています。東日本大震災においても、高品質映像による現場映像配信の重要性を、国民は再認識いたしました。

KDDIおよび情報通信機構の研究開発プロジェクトは、「第3世代携帯電話における大語彙連続音声認識を可能にした分散型音声認識システムの開発と商用化」が評価されました。第3世代携帯電話向けに、携帯電話とサーバ型音声認識で処理を分担する分散型音声認識システムを開発し、ネットワーク型データに対する音声検索の携帯電話機能として世界発の実用化に寄与しています。2006年以来、主要なコンシューマ向け携帯電話アプリケーションである乗換検索、歩行者用ナビゲーション、同乗者用ナビゲーションなどに利用されています。

本会の選奨の中でも本賞は、IT産業に従事する技術者にとって、栄えある感慨深い賞です。受賞者の方々および研究開発や実用化に努力された皆様方に、深い敬意を表すとともに心から受賞をお祝い申し上げます。

(2011年5月30日)